

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : JIS G 3112 鉄筋コンクリート用棒鋼
及び大臣認定製品

会社名 : 岸和田製鋼株式会社

住所 : 〒596-0013 大阪府岸和田市臨海町 20 番地

担当 : 品質・環境管理部品質保証課

電話番号 : 072-437-2330

FAX番号 : 072-436-2614

緊急時連絡先 : 072-438-0015 (総務部総務課)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類区分 : 該当しない

一般的環境下において、危険有害性に関する有用な情報はない

ただし、使用・取扱い時は以下の留意が必要となる

- ・移動、運搬時は、荷崩れなどに十分な注意が必要となる
- ・切断端面及び切削屑等は皮膚切創の危険性がある
- ・溶接時のヒュームによる呼吸器の障害や、またアークによる火傷や眼等の障害の可能性がある
- ・切断、切削時の粉塵が眼や他器官の粘膜を刺激する可能性がある
- ・切削屑等が乾燥状態または油脂類と共に堆積した場合、自然発火または引火の危険が増大する

3. 組成および成分情報

化学物質/混合物の区別 : 混合物(合金)

主な成分

成分	濃度 (%)	CAS 番号	ICSC 番号	安衛法番号	GHS 番号
鉄 [Fe]	残部	7439-89-6	—	—	—
マンガン [Mn]	2.00 以下	7439-96-5	174	550	200
銅 [Cu]	1.00 以下	7440-50-8	240	379	850
ニッケル [Ni]	0.60 以下	7440-02-0	62	418	169
クロム [Cr]	1.00 以下	7440-47-3	29	142	108

CAS : Chemical Abstracts Service (化学物質登録システム)

ICSC : International Chemical Safety Cards (国際化学物質安全性カード)

安衛法 : 労働安全衛生法 施行令 第 18 条の 2 別表 9

GHS : Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals

成分の濃度は、上記の範囲において、製品の規格、種類により異なる

上表の成分以外に、珪素[Si]、燐[P]、硫黄[S]等の微量元素を含有する

4. 応急措置

製品は通常状態で固体であり、一般的環境下において吸入、付着、目に入るといった事態は発生しないが、製品の加工等により発生したヒューム・ダストを吸入、あるいは目に入る等の事態や溶接時のアークによる火傷等の事態は想定される

負傷の程度、種類に応じ、必要な応急処置を施し、速やかに医師の診断を受けること

- ・切断面、切削屑による切創の場合、患部を清潔にし、必要に応じ医師の診断を受ける
- ・ヒュームによる呼吸障害をおこした場合は、呼吸補助をし、速やかに医師の診断を受ける
- ・アークなどによる火傷の場合は、患部を冷やし、必要に応じ医師の診断を受ける
- ・切削屑等が眼等の粘膜を刺激した場合は、患部を清浄な水で洗浄し医師の診断を受ける

5. 火災時の措置

製品は不燃性(固体)の状態であり、周辺の火災時にも消火器や水による消火をおこなっても問題ない

ただし、微粉は燃焼、爆発性を有する場合がある

〈消火剤〉

火災の状況に応じた消火剤を使用する

〈特有の危険有害性〉

情報なし

〈特有の消火法〉

情報なし

〈消火作業者の保護〉

消火作業時は保護具を着用し、風上から消火作業をおこなうこと

6. 漏出時の措置

保管及び使用状態では、固体であるため漏出はしない

〈人体に対する注意事項〉

適切な保護具を使用し、粉塵/ヒュームの吸入や眼への侵入を防止すること

〈環境に対する注意事項〉

切断・研磨などの加工により発生したダスト類は速やかに回収すること

〈回収・中和、封じ込め及び浄化の方法・機材〉

製品の加工等により発生したヒューム・ダスト類は、掃除機などで回収し漏出を防止すること

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

〈技術的対策〉

製品を溶接・溶断・研磨等の加工により、ヒューム・ダスト類が発生する場合は、適切な保護具を着用し、目、皮膚への接触や吸入を避けること

また必要な局所排気、全体換気をおこなうこと

〈安全注意事項〉

重量物の為、転倒、荷崩れ、落下に注意すること

製品の切断端面及び切削屑等は皮膚切創の危険性があるので、保護手袋着用する等注意する事

〈接触回避〉

10. 安定性及び反応性 参照のこと

〈衛生対策〉

取扱い後は手を洗う事

【保管】

〈安全な保管条件〉

水分、酸、アルカリもしくはそれらを含んだ物質との接触を避けること
急激な温度変化、高温多湿の環境は避け、必要であれば雨水浸透防止、錆防止のためのシート、カバー、梱包をおこなうこと

8. 暴露防止及び保護措置

一般的環境下において、暴露防止及び保護措置に関する有用な情報はない
ただし、切断・溶接・切削・研磨等の作業においては、マスク、メガネ、手袋等の保護具を着用すること、また適切な換気対策を実施し環境を確保すること

〈呼吸器の保護具〉

適切なマスク、呼吸器保護具を着用すること

〈手、指の保護具〉

適切な保護手袋（布、皮等）を着用すること

〈眼の保護具〉

適切な保護眼鏡を着用すること、飛散または霧拡散により眼や顔に接触する可能性がある場合は化学スプラッシュゴーグル、顔面シールドを着用すること

〈皮膚及び身体の保護具〉

保護衣、安全靴等により保護すること

9. 物理的及び化学的性質

外観	通常状態では固体	酸化被膜色（黒、銀白色）
融点	1500～1535℃	
沸点	不明（参考：純鉄 2750℃）	
比重（相対密度）	約 7.85g/cm ³	
臭気	無臭	
水への溶解度	不溶性	
燃焼性	不燃性（加工時発生するダストは燃焼・爆発する可能性がある）	

10. 安定性及び反応性

〈安定性〉

一般環境下では、安定

〈危険有害反応の可能性〉

強酸などの化学物質と接触すると、有害ガスを発生させる可能性がある

〈避けるべき条件〉

高温多湿環境

〈混触危険物質〉

強酸、強アルカリなど

〈危険有害性のある分解生成物〉

溶接・溶断・研磨等の加工時に発生するヒューム・ダスト類に金属化合物が含有する可能性がある

11. 有害性情報

製品状態としては、現在のところ有用な有害性情報はない

ただし、溶接・溶断・研磨等の加工時に発生するヒューム・ダスト類は呼吸器に機械的刺激や障害を
起こす可能性がある

また、含有成分の一部には、ある濃度を超える場合に、有害性が指摘されている場合がある
これらの情報は、例えば安全情報センターのホームページ

http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx等から入手できる

12. 環境影響状況

現在、環境影響に関する有用な情報はない

13. 廃棄上の注意

鉄スクラップとしてリサイクルするなど、廃掃法、関係条例などの関連法規に従い環境に配慮した
適切な方法で処理すること

製品納入時の包装材等、鉄以外の廃棄物と分離して処理すること

14. 輸送上の注意

危険有害物質としての注意事項はない、また輸送に関する国際規制対象物質ではない

ただし、重量物であるため荷崩れ、落下等の無い様注意すること

水濡れ防止のため、保護シートの被覆をすることが望ましい

15. 適用法令

- ・労働安全衛生法
- ・特定化学物質排出管理促進法（PRTR法）

16. その他の情報

本データシートは JIS Z 7253 : 2012 「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル
作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」 に準じて作成しました

記載の内容は、現時点で入手可能な資料、情報を基に作成したもので、今後新しい知見により
変更する場合があります

また、注意事項等は通常の手扱いを対象としたものであり、製品の安全性を保証するものでは
ありません

取扱い作業は、関連法令に従うとともに、自らの責任において細心の注意と、適切な処置を講じて
いただけますよう、お願い申し上げます